

数学科 中学校 1年

単元名 比例と反比例
啓林館「数学1」

単元の流れ (全12時間)

【第1次】 比例の式

主な学習内容

◇第1、2、3時 具体的な事象の中にある2つの数量の関係に関心をもち、比例の関係を見いだす。

【第2次】 座標

主な学習内容

◇第4時 座標の意味を理解し、点を座標平面上に表す。

【第3次】 比例のグラフ

主な学習内容

◇第5、6時 比例のグラフの意味とかき方、特徴を理解する。

【第4次】 反比例の式

主な学習内容

◇第7、8時 具体的な事象の中にある2つの数量の関係に関心をもち、反比例の関係を見いだす。

【第5次】 反比例のグラフ

主な学習内容

◇第9、10時 反比例のグラフの意味とかき方、特徴を理解する。

【第6次】 比例、反比例の利用

主な学習内容

◇第11時 比例や反比例が実生活と深くかかわっていることに気づき、身のまわりの問題解決に当たって、比例や反比例の見方や考え方を活用する。
(本時)

評価問題

CLICK

【第7時】 学習のまとめ

主な学習内容

◇第12時 適用問題を解く。

単元目標

○具体的な事象の中にある、伴って変わる2つの数量に注目して、比例や反比例の関係を見だし、その変化や対応の様子を考察し、問題解決に活用する。

「活用」の力を育てるポイント

- ①学んだこと等を生かすなど、関連付け、結び付けて根拠を導き出させる。
- ②根拠をもとに、論理的に考え、数学的な表現を用いて説明させる。
- ③グループで話し合いをすることにより、互いの考えを聞く姿勢を育て、その中で多面的に思考する力を育成させる。
- ④本時の目標を明確にし、学習事項を書いて振り返る時間を確保する。

単元構成の意図

比例、反比例においては、表、式、グラフという「関数をとらえるもの」の指導を通して、その性質を理解する内容が中心である。

具体的事象について考える場合に比例と反比例を混同する傾向が、学力調査等で顕著に見られる。具体的事象における比例、反比例の関係においては、題意を正確にとらえ、伴って変わる2つの数量を把握する必要がある。

第6次では「比例、反比例の利用」において、伴って変わる数量の対象を変えることで関係（比例、反比例）がどのように変わるかを考察する場面を設定した。



HOME

本時の流れへ